

2022年度(令和4年度)工業用水道事業の決算見込みの概要

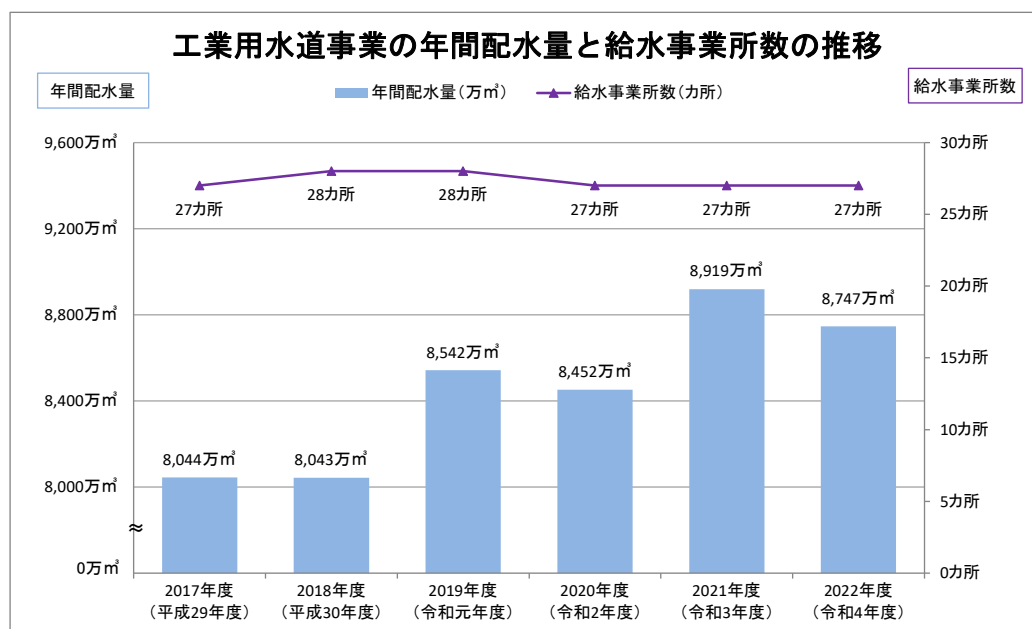
2022年度(令和4年度)工業用水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

工業用水道事業

1 業務状況

工業用水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2022年度 (令和4年度)	2021年度 (令和3年度)	増 減
給 水 事 業 所 数	27 力所	27 力所	0 力所
配 水 量	87,469,073 m ³ /年	89,191,425 m ³ /年	△ 1,722,352 m ³ /年
一 日 平 均 配 水 量	239,641 m ³ /日	244,360 m ³ /日	△ 4,719 m ³ /日

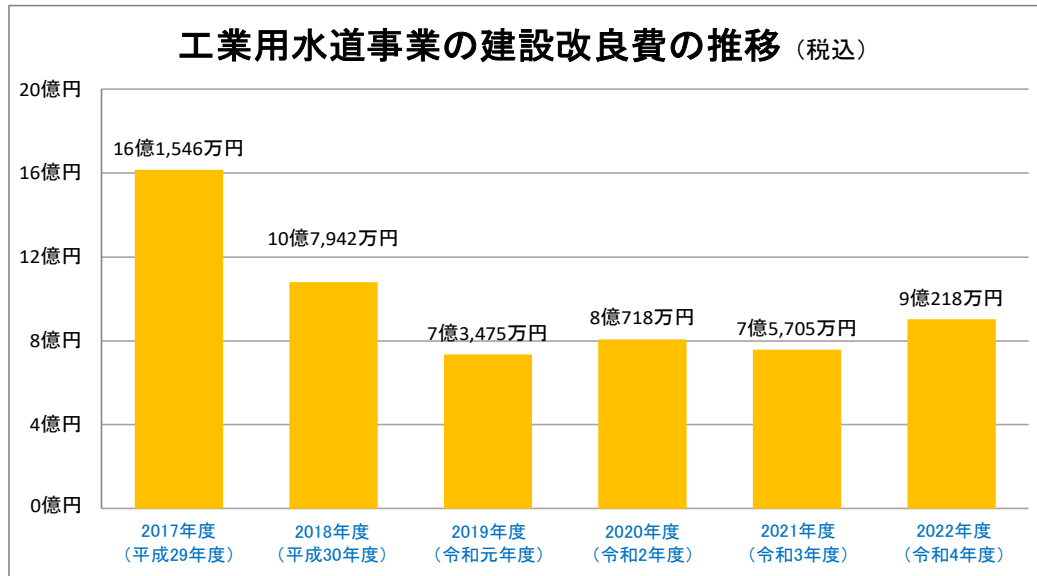


2 建設改良事業の概況

2022年度(令和4年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

○配水管及び施設改良事業【8億6,761万円】

箕島浄水場2系沈澱池機械設備取替工事 外



箕島浄水場2系沈澱池機械設備取替工事

3 財政状況等

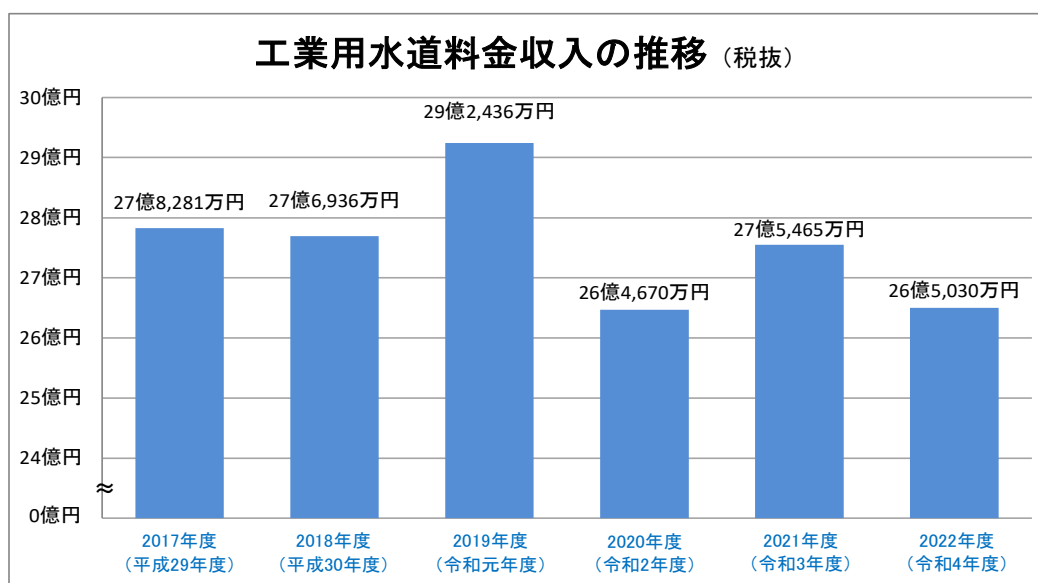
(1) 収益的収支(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、他会計負担金が電気代高騰に対する国の臨時交付金の受入れにより増加したものの、給水収益などが減少したことから、前年度と比較して、6,809万円(2.2%)減少し、29億7,881万円となりました。

一方、事業費用は、中津原浄水場外運転管理及び維持管理等業務の労務単価の上昇や、動力費や薬品費を当該委託に含めたことで委託料が大幅に増加したことなどから、前年度と比較して、2億7,404万円(13.1%)増加し、23億6,614万円となり、差引6億1,267万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜)

事 項	2022年度 (令和4年度)	2021年度 (令和3年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、工業用水道料金収入)	29億7,881万円 (26億5,030万円)	30億4,690万円 (27億5,465万円)	△6,809万円 (△1億435万円)
収 益 的 支 出	23億6,614万円	20億9,210万円	2億7,404万円
差 引	6億1,267万円	9億5,480万円	△3億4,213万円

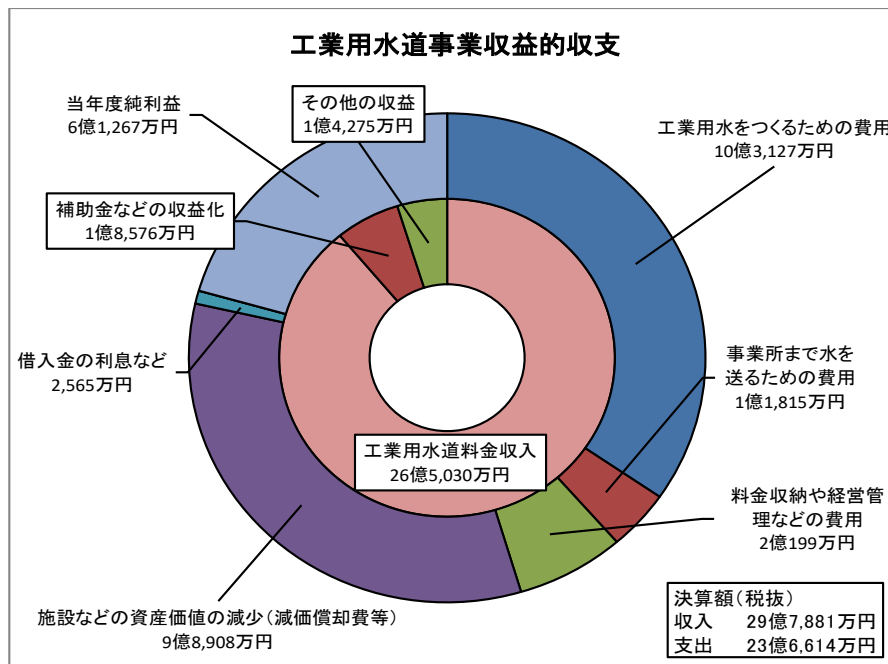


工業用水道事業損益計算書

【2022年(令和4年)4月1日から2023年(令和5年)3月31日まで】

(税抜)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	給水収益	26億5,030万円	工業用水道料金収入
	他会計負担金	1万円	その他の収益
	その他営業収益	1,272万円	
営業費用	原水及び浄水費	10億3,127万円	工業用水をつくるための費用
	配水及び給水費	1億1,815万円	事業所まで水を送るための費用
	業務及び総係費	2億199万円	料金収納や経営管理などの費用
	減価償却費	9億8,777万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	131万円	
営業利益		3億2,254万円	
営業外収益	受取利息	180万円	その他の収益
	他会計負担金	1億300万円	
	長期前受金戻入	1億8,576万円	補助金などの収益化
	雑収益	2,522万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1,295万円	借入金の利息
	雑支出	1,270万円	その他の費用
経常利益		6億1,267万円	
当年度純利益		6億1,267万円	



(2) 資本的収支(工業用水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、国庫補助金により、5,970万円となりました。

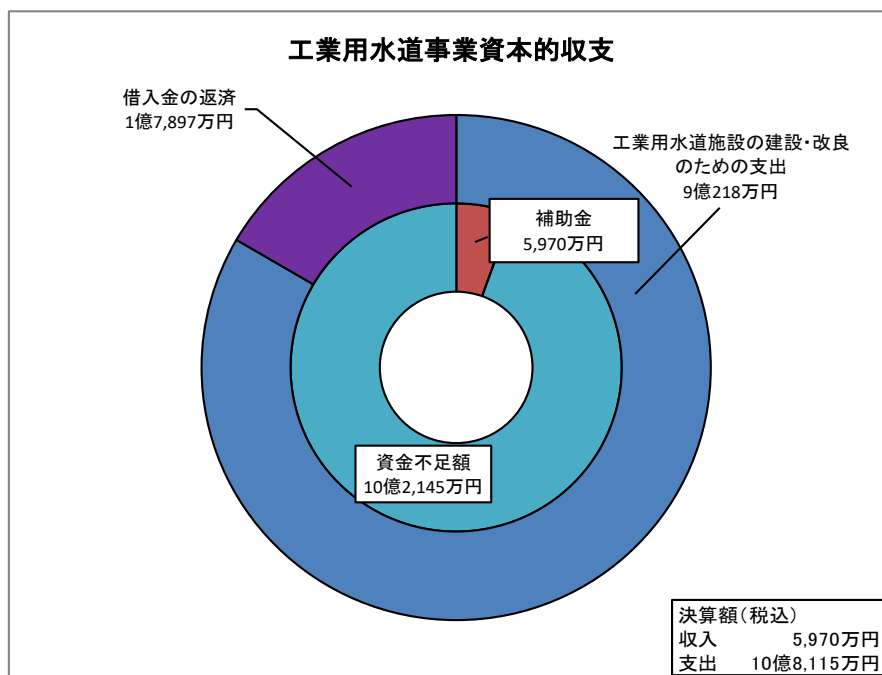
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、10億8,115万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、10億2,145万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、4億7,970万円増加し、87億1,562万円となりました。

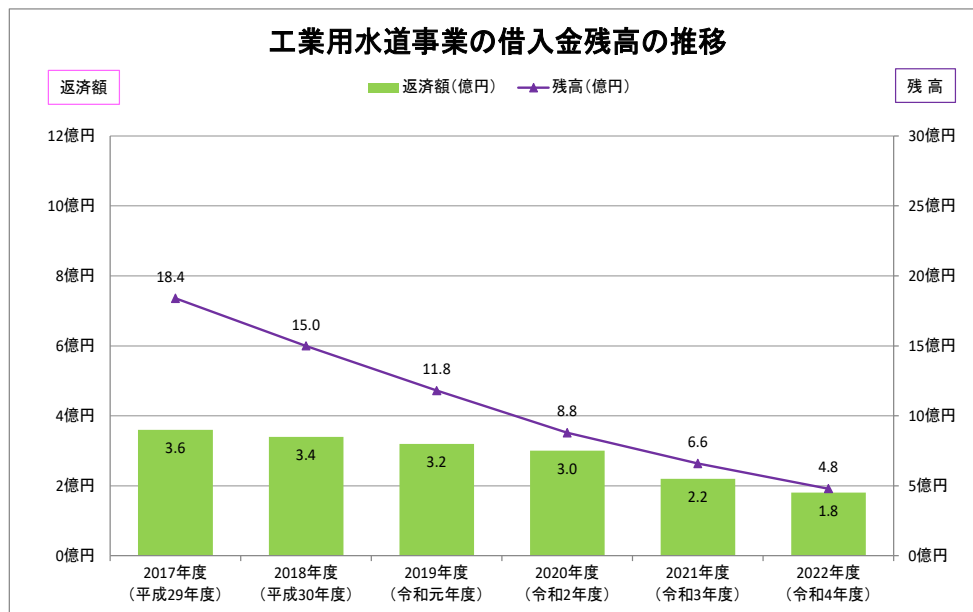
(税込)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	5,970万円	
国庫補助金	5,970万円	補助金
資本的支出	10億8,115万円	
建設改良費	9億218万円	工業用水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	1億7,897万円	借入金の返済
差 引	10億2,145万円	不足額



(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて1億7,897万円(27.2%)減少し、4億7,955万円となりました。



※2003年度(平成15年度)以降新規借入はありません。

(4)貸借対照表

工業用水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

工業用水道事業貸借対照表

【2023年(令和5年)3月31日】

(税抜)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	184億2,047万円	固定負債	5億7,763万円
有形固定資産	99億7,211万円	企業債	3億2,714万円
無形固定資産	84億4,666万円	引当金	2億5,049万円
投資その他の資産	170万円	流動負債	5億3,806万円
流動資産	91億127万円	企業債	1億5,241万円
現金及び預金	88億1,841万円	未払金	3億6,843万円
未収金	2億8,018万円	引当金	1,722万円
前払費用	258万円	繰延収益	35億5,892万円
その他流動資産	10万円	長期前受金	35億5,892万円
		資 本 の 部	
		資本金	199億5,979万円
		資本金	199億5,979万円
		剰余金	28億8,734万円
		資本剰余金	2億6,135万円
		利益剰余金	26億2,599万円
		(うち当年度純利益)	(6億1,267万円)
合 計	275億2,174万円	合 計	275億2,174万円

(5)キャッシュ・フロー計算書

工業用水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	83億6,506万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴う現金・預金の収支)	15億3,263万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△9億30万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△1億7,898万円
当年度末の現金・預金の残高	88億1,841万円